



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 岩谷産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8088 URL http://www.iwatani.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間島 寛
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 哲夫 (TEL) 06-7637-3325
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	445,126	△10.9	15,234	△1.3	18,810	4.4	12,377	8.6
2020年3月期第3四半期	499,490	△4.2	15,440	△4.4	18,011	△2.6	11,396	△2.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 21,322百万円(47.0%) 2020年3月期第3四半期 14,506百万円(114.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 235.70	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	231.60	198.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	491,803	237,644	46.5
2020年3月期	469,715	191,152	38.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 228,495百万円 2020年3月期 182,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	95.00	95.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	677,500	△1.4	24,700	△14.0	27,600	△14.5	17,300	△17.6	351.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	58,561,649株	2020年3月期	50,273,005株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,046,831株	2020年3月期	1,060,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	52,514,291株	2020年3月期3Q	49,210,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
2021年3月期第3四半期実績(連結)	10
(1) 損益計算書	10
(2) LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた経常利益	10
(3) LPガス輸入価格の推移	10
(4) セグメント情報	10
(5) LPガス・産業ガス売上高・売上数量	10
(6) 財政状態	11
(7) 投資の状況	11
(8) (参考) 個別業績の概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、5月の緊急事態宣言の解除後、経済活動再開の動きにより個人消費や輸出等に改善が見られ、設備投資にも持ち直しの動きがみられました。一方、足元では新型コロナウイルスの感染再拡大により、国内外での先行き不透明感が高まっています。

当社においても、新型コロナウイルスの影響により、工業分野向け主力商品の販売が減少しましたが、在宅率の上昇を背景に、家庭用LPガスおよび消費者向け商品の販売が増加しました。また、LPガス輸入価格が期初に下落し、低位に推移したことから、販売価格が低下しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「PLAN20」の基本方針である「成長戦略の推進」と「経営基盤の拡充」に取り組みました。

脱炭素への取り組みが加速する中、水素エネルギー社会の実現に向けては、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進するため、当社は共同代表者として、新たに「水素バリューチェーン推進協議会」を設立しました。

また、豪州の電力会社であるStanwellや鉄鉱石生産会社であるFortescue Metals Groupおよび川崎重工業株式会社とグリーン水素サプライチェーンの事業化の検討を開始しました。豪州において、太陽光や風力などの再生可能エネルギー由来のグリーン水素を製造・液化し、大型の液化水素船で輸入することを目指しています。

LPガス事業については、当社独自のIoTプラットフォーム「イワタニゲートウェイ」の事業化を加速するため、日本電気株式会社、TIS株式会社、新コスモス電機株式会社の3社と共同で新会社を設立しました。デジタルテクノロジーやデータ分析機能および機器開発力を持つ企業と協力しながら、当社の持つ事業基盤にIoTプラットフォームを融合させ、高齢化や過疎化など地域が抱える様々な課題の解決に向けて、暮らしを支える新しいサービス・価値を創造してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,451億26百万円（前年同期比543億63百万円の減収）、営業利益152億34百万円（同2億5百万円の減益）、経常利益188億10百万円（同7億98百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益123億77百万円（同9億80百万円の増益）となりました。

なお、当社グループの事業構造はエネルギー関連商品を主力としており、季節変動による影響を大きく受ける傾向にあります。LPガスの消費量は、気温や水温の影響を受けるため、販売量は夏季に減少し、冬季に増加します。このため当社グループは利益が下半期に偏る収益構造を有しています。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

【総合エネルギー事業】

総合エネルギー事業は、業務用・工業用LPガスの販売減少に加え、LPガス輸入価格が低位に推移したことに伴う販売価格の低下により、減収となりました。

一方、家庭用LPガスやカセットこんろ・ボンベおよびエネルギー関連機器の販売が好調に推移したに加え、LPガスの市況要因による減益影響が改善し、増益となりました。

この結果、当事業分野の売上高は2,003億29百万円（前年同期比236億91百万円の減収）、営業利益は67億55百万円（同16億43百万円の増益）となりました。

【産業ガス・機械事業】

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガスについては自動車関連業界および光ファイバー業界向けの販売が減少し、機械設備についても顧客の設備投資の抑制等から売上が減少しました。ヘリウムについては、半導体業界向けを中心に海外での販売が増加しました。水素事業は、水素ステーションの費用は増加しましたが、液化水素の販売が伸長しました。

この結果、当事業分野の売上高は1,235億88百万円（前年同期比144億32百万円の減収）、営業利益は61億58百万円（同20億10百万円の減益）となりました。

【マテリアル事業】

マテリアル事業は、ミネラルサンドについては、国内外で自動車関連業界および鉄鋼業界の低迷により販売が減少しました。また、エアコン向け金属加工品の販売が減少しましたが、バイオマス燃料（PKS）や低環境負荷PET樹脂の販売が増加したことに加え、消費者向けの樹脂製品（グルラボ、アイラップ等）の販売が好調に推移しました。二次電池材料については、市況が下落したことにより減収となりましたが、販売数量は増加しました。

この結果、当事業分野の売上高は1,000億16百万円（前年同期比130億41百万円の減収）、営業利益は31億71百万円（同79百万円の増益）となりました。

【自然産業事業】

自然産業事業は、外食および給食業界向け冷凍食品の販売が減少しました。また、種豚の出荷は増加しましたが、農業設備の販売は減少しました。

この結果、当事業分野の売上高は176億59百万円（前年同期比27億52百万円の減収）、営業利益は5億16百万円（同2億78百万円の減益）となりました。

【その他】

売上高は35億32百万円（前年同期比4億46百万円の減収）、営業利益は10億66百万円（同2億26百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ220億87百万円増加の4,918億3百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が56億35百万円、商品及び製品が46億39百万円それぞれ減少したものの、投資有価証券が147億76百万円、現金及び預金が70億79百万円、有形固定資産が52億40百万円、電子記録債権が32億70百万円、仕掛品が18億64百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ244億5百万円減少の2,541億58百万円となりました。これは、短期借入金が97億9百万円、未払金等の流動負債「その他」が65億25百万円それぞれ増加したものの、1年内償還予定の社債が300億16百万円、支払手形及び買掛金が63億81百万円、未払法人税等が43億3百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

なお、当第3四半期連結会計期間末のリース債務を含めた有利子負債額は、前連結会計年度末と比べ187億96百万円減少の1,077億81百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ464億92百万円増加の2,376億44百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が17億3百万円減少したものの、資本剰余金が150億38百万円、資本金が150億円、その他有価証券評価差額金が105億84百万円、利益剰余金が76億97百万円それぞれ増加したこと等によるものです。なお、資本剰余金および資本金の増加は、「2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」が全て権利行使されたこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、景気動向やLPガス輸入価格の変動等が業績に影響を与える可能性があります。当第3四半期連結累計期間においては、2020年5月14日発表の業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,525	32,605
受取手形及び売掛金	107,041	101,406
電子記録債権	13,467	16,738
商品及び製品	33,695	29,055
仕掛品	3,737	5,601
原材料及び貯蔵品	4,800	4,856
その他	15,705	13,985
貸倒引当金	△200	△188
流動資産合計	203,772	204,061
固定資産		
有形固定資産		
土地	65,331	66,797
その他(純額)	106,462	110,237
有形固定資産合計	171,793	177,034
無形固定資産		
のれん	12,904	14,520
その他	3,863	3,799
無形固定資産合計	16,767	18,319
投資その他の資産		
投資有価証券	63,769	78,545
その他	14,187	14,412
貸倒引当金	△575	△570
投資その他の資産合計	77,381	92,387
固定資産合計	265,942	287,741
資産合計	469,715	491,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,844	61,462
電子記録債務	25,068	26,226
短期借入金	19,434	29,143
1年内償還予定の社債	35,016	5,000
未払法人税等	6,650	2,346
賞与引当金	5,152	2,596
その他	31,965	38,490
流動負債合計	191,131	165,267
固定負債		
長期借入金	64,743	61,937
役員退職慰労引当金	1,493	1,329
訴訟損失引当金	163	—
退職給付に係る負債	5,615	5,569
その他	15,417	20,054
固定負債合計	87,432	88,891
負債合計	278,563	254,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,096	35,096
資本剰余金	16,728	31,766
利益剰余金	130,762	138,459
自己株式	△1,515	△1,503
株主資本合計	166,071	203,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,119	24,704
繰延ヘッジ損益	1,608	1,138
為替換算調整勘定	558	△1,144
退職給付に係る調整累計額	△91	△21
その他の包括利益累計額合計	16,194	24,676
非支配株主持分	8,885	9,149
純資産合計	191,152	237,644
負債純資産合計	469,715	491,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	499,490	445,126
売上原価	374,745	322,010
売上総利益	124,744	123,115
販売費及び一般管理費		
運搬費	18,398	18,447
貸倒引当金繰入額	17	△2
給料手当及び賞与	30,689	30,867
賞与引当金繰入額	2,284	2,358
退職給付費用	1,221	1,386
役員退職慰労引当金繰入額	160	160
その他	56,533	54,664
販売費及び一般管理費合計	109,304	107,881
営業利益	15,440	15,234
営業外収益		
受取利息	233	242
受取配当金	1,116	1,012
為替差益	187	101
持分法による投資利益	258	515
その他	2,067	3,088
営業外収益合計	3,864	4,959
営業外費用		
支払利息	649	690
売上割引	300	264
その他	344	428
営業外費用合計	1,293	1,384
経常利益	18,011	18,810
特別利益		
固定資産売却益	483	166
投資有価証券売却益	7	293
負ののれん発生益	303	—
補助金収入	3	105
特別利益合計	797	564
特別損失		
固定資産売却損	219	6
固定資産除却損	223	180
減損損失	15	35
投資有価証券評価損	61	7
関係会社清算損	76	—
固定資産圧縮損	19	104
特別損失合計	616	334
税金等調整前四半期純利益	18,192	19,040
法人税等	6,202	6,211
四半期純利益	11,990	12,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	593	450
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,396	12,377

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,990	12,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,531	10,514
繰延ヘッジ損益	427	△471
為替換算調整勘定	△1,525	△1,716
退職給付に係る調整額	40	66
持分法適用会社に対する持分相当額	42	100
その他の包括利益合計	2,515	8,493
四半期包括利益	14,506	21,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,960	20,859
非支配株主に係る四半期包括利益	545	463

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2015年10月22日に発行した「2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の全てについて権利行使があったことにより、資本金及び資本剰余金のうち資本準備金がそれぞれ15,000百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が35,096百万円、資本準備金が20,100百万円となりました。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	自然産業 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	224,020	138,020	113,057	20,412	495,511	3,979	499,490	—	499,490
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,904	2,650	1,238	242	8,036	15,558	23,594	△23,594	—
計	227,925	140,670	114,296	20,654	503,547	19,537	523,085	△23,594	499,490
セグメント利益 又は損失(△)	5,112	8,168	3,091	795	17,168	839	18,008	△2,567	15,440

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	自然産業 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	200,329	123,588	100,016	17,659	441,593	3,532	445,126	—	445,126
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,112	2,089	1,151	28	7,382	15,744	23,127	△23,127	—
計	204,442	125,678	101,168	17,687	448,976	19,277	468,254	△23,127	445,126
セグメント利益 又は損失(△)	6,755	6,158	3,171	516	16,601	1,066	17,668	△2,433	15,234

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

2021年3月期第3四半期 実績 (連結)

(億円未満切捨て)

(1)【損益計算書】

(単位:億円)

	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率	通期 業績予想	決算の概況
売上高	4,994	4,451	△ 543	△ 10.9%	6,775	・売上高は主に新型コロナウイルスの影響により工業分野向け主力商品の販売が減少したことに加え、LPガス輸入価格が低位に推移したことにより減収 ・利益面は家庭用LPガスおよび消費者向け商品の販売増加や販管費の減少、営業外損益の改善により、経常利益以下は増益となり、第3四半期としては過去最高益を更新
売上総利益	1,247	1,231	△ 16	△ 1.3%	—	
営業利益	154	152	△ 2	△ 1.3%	247	
経常利益	180	188	7	4.4%	276	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	113	123	9	8.6%	173	

※通期業績予想は、2020年5月14日に公表した数値を表示しております。

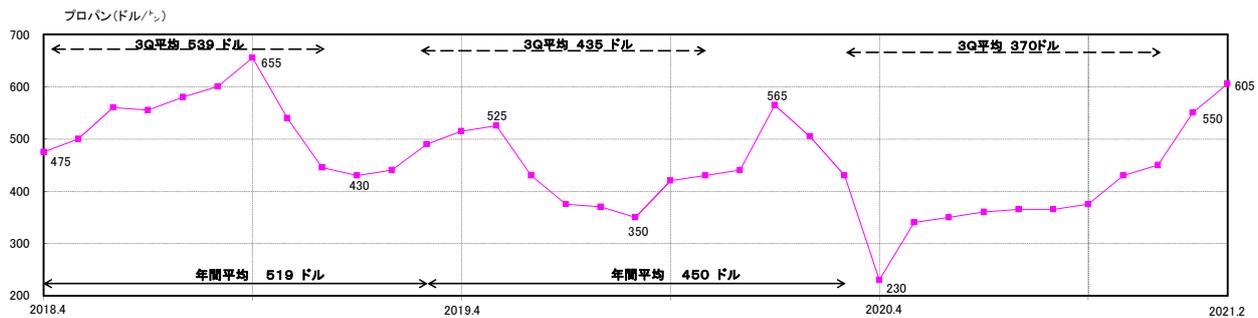
(2)【LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた経常利益】

(単位:億円)

	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率	通期 業績予想	経常利益の概況
経常利益	180	188	7	4.4%	276	・LPガス輸入価格が期初に下落し、低位に推移したことにより、相対的に高値の在庫を販売することとなり、15億円の減益要因が発生 ・市況要因を除く経常利益は203億円となり、前年同期比5億円の増益
市況要因	△ 18	△ 15	2	—	—	
市況要因を除く経常利益	198	203	5	2.6%	276	

※LPガスの輸入から販売までの期間は比較的長期であることから、LPガス輸入価格の急激な変動により輸入価格が上昇局面の場合は輸入価格の安いLPガス在庫を高い卸売価格で販売することにより増益要因となる一方、下落局面の場合は輸入価格の高いLPガス在庫を安い卸売価格で販売することにより減益要因となり、短期的に当社グループの業績に影響を及ぼす原因となるため、市況要因を除く経常利益を記載しております。

(3)【LPガス輸入価格の推移】



(4)【セグメント情報】

(単位:億円)

	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率	セグメントの概況	
総合エネルギー事業	売上高	2,240	2,003	△ 236	△ 10.6%	・LPガスの販売減少および輸入価格下落により減収 ・LPガスの市況要因が改善し増益 ・家庭用LPガスおよびカセットこんろ・ボンベの販売増加により増益
	営業利益	51	67	16	32.1%	
産業ガス・機械事業	売上高	1,380	1,235	△ 144	△ 10.5%	・エアセパレートガス、機械設備の販売が減少 ・ヘリウムガスは海外での販売が増加 ・液化水素の販売が伸長
	営業利益	81	61	△ 20	△ 24.6%	
マテリアル事業	売上高	1,130	1,000	△ 130	△ 11.5%	・ミネラルサンドや金属加工品の販売が減少 ・バイオマス燃料や低環境負荷PET樹脂および樹脂製品の販売が増加 ・二次電池材料の市況は下落するも、販売数量は増加
	営業利益	30	31	0	2.6%	
自然産業事業	売上高	204	176	△ 27	△ 13.5%	・外食および給食業界向け冷凍食品の販売が減少 ・種豚の出荷が増加 ・農業設備の販売が減少
	営業利益	7	5	△ 2	△ 35.0%	
その他	売上高	39	35	△ 4	△ 11.2%	
	営業利益	△ 17	△ 13	3	—	

※「売上高」は、外部顧客への売上高を表示しております。

※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

(5)【LPガス・産業ガス売上高・売上数量】

	売上数量 (単位:千トン)				売上高 (単位:億円)			
	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率
国内民生用	1,003	967	△ 36	△ 3.6%	962	884	△ 78	△ 8.1%
国内工業用	231	226	△ 5	△ 2.5%	162	139	△ 22	△ 13.6%
LPガス(海外除く)	1,235	1,193	△ 42	△ 3.4%	1,124	1,024	△ 100	△ 8.9%
LPガス合計	1,813	1,605	△ 207	△ 11.4%	1,384	1,176	△ 207	△ 15.0%
各種産業ガス	—	—	—	—	761	730	△ 31	△ 4.1%

(6)【財政状態】

(単位:億円)

	前期末	当第3四半期末	前期末比
総資産	4,697	4,918	220
自己資本	1,822	2,284	462
有利子負債	1,265	1,077	△ 187
ネット有利子負債	1,010	751	△ 258
自己資本比率	38.8%	46.5%	7.7pt
有利子負債依存度	26.9%	21.9%	△5.0pt
有利子負債倍率	0.69倍	0.47倍	△0.22pt
ネット有利子負債倍率	0.55倍	0.32倍	△0.23pt

※有利子負債には、リース債務29億円を含んでおります。

(7)【投資の状況】

(単位:億円)

	当第3四半期	年間計画
総合エネルギー事業	87	116
産業ガス・機械事業	131	232
マテリアル事業	18	46
自然産業事業	8	4
その他	17	42
投資額	263	440
減価償却費	148	195

※有形固定資産・無形固定資産(のれん除く)・投資有価証券を表示しております。

※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

(8)(参考)【個別業績の概要】

(損益計算書)

(単位:億円)

	前第3四半期 (2019/12)	当第3四半期 (2020/12)	増減額	増減率
売上高	3,459	3,083	△ 375	△ 10.9%
営業利益	38	46	8	21.2%
経常利益	93	110	16	17.7%
四半期純利益	74	87	13	18.6%

(財政状態)

(単位:億円)

	前期末	当第3四半期末	前期末比
総資産	3,312	3,477	165
自己資本	1,182	1,621	438
自己資本比率	35.7%	46.6%	10.9pt